

平成 25 年度入学者選抜学力検査問題

国 語

注 意

- 1 監督者の「始め」の合図があるまでは、開いてはいけません。
- 2 検査時間は、9時25分から10時15分までの50分間です。
- 3 大きな問題は全部で5問で、表紙を除いて7ページです。
また、別に解答用紙が、(1)、(2)の2枚あります。
- 4 監督者の「始め」の合図があったら、すぐに受検番号をこの表紙と解答用紙(1)、(2)のきめられた欄に書きなさい。
- 5 答えは、必ず解答用紙のきめられた欄に書きなさい。
また、特に指示のあるもののほかは、各問いの**ア**、**イ**、**ウ**、**エ**のうちから最も適当なものをそれぞれ一つ選んで、その記号を解答欄の()の中に書き入れなさい。
- 6 答えの字数が指示されている問いについては、句読点や「 」などの符号も字数に数えるものとします。
- 7 監督者の「やめ」の合図があったら、すぐやめて、筆記用具をおきなさい。

受 検 番 号

番

1

次の1から7までの問いに答えなさい。

1 次の——線の部分の読みをひらがなで書きなさい。

- (1) 旅行を企画する。 (2) さわやかな朝を迎える。
 (3) 外国に社員を派遣する。 (4) 子どもに教諭す。
 (5) 試合の均衡が破れる。

2 次の——線の部分を漢字で書きなさい。

- (1) バスのザセキをゆずる。 (2) 夕日が校舎をテらす。
 (3) 体力をヤシナう。 (4) エンソウ会に出かける。
 (5) 公園をサンサクする。

3 「教室では騒がないようにしよう。」の——線の部分と文法的に同じ意味・用法のものはどれか。

- ア 運動会は雲一つない晴天に恵まれた。
 イ どのような困難にも彼はくじけない。
 ウ 友人のさりげない一言が胸にしみた。
 エ 君の夢が実現する日もそう遠くない。

4 次のうち、一つの意味だけに読み取れ、解釈をする上で誤解の生じない文はどれか。

- ア 彼はお昼前に学校に来るよう担任の先生から連絡を受けた。
 イ 母親は笑いながら走り回っている子どもたちに声をかけた。
 ウ 今朝東京に住む兄から正月には実家に帰ると電話があった。
 エ 祖母から誕生日のお祝いに小さなかばんと財布をもらった。

5 A中学校の小林さんは、自由研究のレポートを書くために博物館を訪れた。次の会話の——線の部分のうち、敬語の使い方が正しいものはどれか。

小林 「こんにちは、A中学校の小林です。今日は、郷土の歴史を調べにうかがいました。よろしく願ひします。」
 職員 「こんにちは。先日連絡をくれた小林さんですね。今日はゆつくり見学してってください。」

小林 「館内では写真をお撮りになつてよろしいですか。」
 職員 「一般展示しているものなら大丈夫です。」

小林 「ありがとうございます。見学後に質問したいことがあるのですが、どなたに質問なさるとよろしいですか。」
 職員 「どのような質問ですか。内容に応じて、専門の者を紹介します。」

小林 「江戸時代について存じ上げている方をお願いします。」
 職員 「私の専門なので、後で声をかけてください。」

6 「存在」と熟語の構成が同じものはどれか。

- ア 喜劇 イ 未定 ウ 映像 エ 温暖

7 「睡りたる子に止めて置く扇風機(縮畑汀子)」と同じ季節を詠んだ俳句はどれか。

- ア 離れて遠き吾子の形に毛糸編む (石田波郷)
 イ はばかりずラムネの玉を鳴らし飲む (石川星水女)
 ウ 桃の花川はひかりを流しをり (小檜山繁子)
 エ 銀杏が落ちたる後の風の音 (中村汀女)

次の文章を読んで、1から5までの問いに答えなさい。

昔、孔子に、一人有つて来歸す。^(注1)孔子、問うていはく、「汝^(注1)何を以てか来つて我に歸する。」かの俗^(注2)いはく、「君子参内の時、これを見しに^(注4)。颯々として威勢あり。よつて、これに歸す。」孔子、弟子をして、乗り物・装束・金銀・財物等を取り出だして、これをあたへき。「汝、我に歸するにあらず。」
 また、宇治の関白殿、ある時、鼎殿^(注5)に到つて、火をたくところを見る。鼎殿見ていはく、「何者ぞ、左右なく御所の鼎殿へ入るは。」といつて、追ひ出だされて後、さきの悪^(注6)き衣服を脱ぎ改めて、颯々として取り装束して出で給ふ。^(注8)時に、さきの鼎殿、はるかに見て、恐れ入つて逃げぬ。時に、殿下、装束を竿に掛けられて、拜せられけり。人、これを問ふ。答へていはく、「我、人に貴びらるるも、我が徳にあらず。ただ、この装束の故なり。」
 ③ 愚かなる者の人を貴ぶこと、かくのごとし。

〔「正法眼蔵隨聞記」から〕

- (注1) 来歸す＝弟子入りするためにやって来た。
 (注2) 俗＝世間並みの普通の人。
 (注3) 君子参内の時＝孔子が王宮に参上する時。
 (注4) 颯々として＝おごそかな様子で。
 (注5) 宇治の関白殿＝藤原頼通。平安時代の貴族。
 (注6) 鼎殿＝湯を沸かす所。また、そこに勤める役人。
 (注7) 左右なく＝断りなしに。
 (注8) 取り装束して＝装束を身に付けて。

1 あたへき は現代ではどう読むか。現代かなづかいを用いて、すべてひらがなで書きなさい。

2 見し 見る について、それぞれの主語にあたる人物の組み合わせとして適切なものはどれか。

- ア 孔子 — 宇治の関白殿 イ 孔子 — 鼎殿
 ウ かの俗 — 宇治の関白殿 エ かの俗 — 鼎殿

3 何を以てか来つて我に歸する の意味として、最も適切なものはどれか。

- ア 私のところに弟子入りするのは、どういう理由からか。
 イ 私のところに弟子入りするのを、誰に勧められたのか。
 ウ 私のところに弟子入りするのが、本当によいと思うか。
 エ 私のところに弟子入りするのに、何を持ってきたのか。

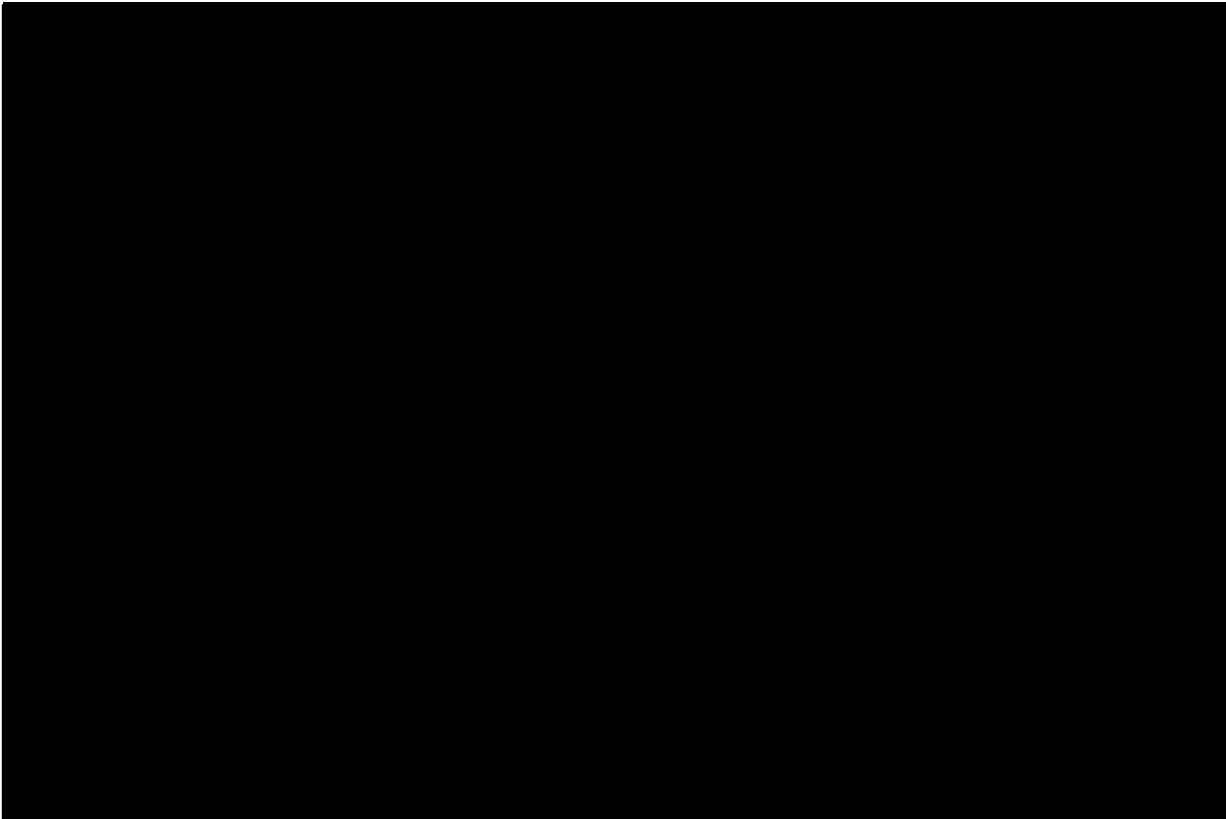
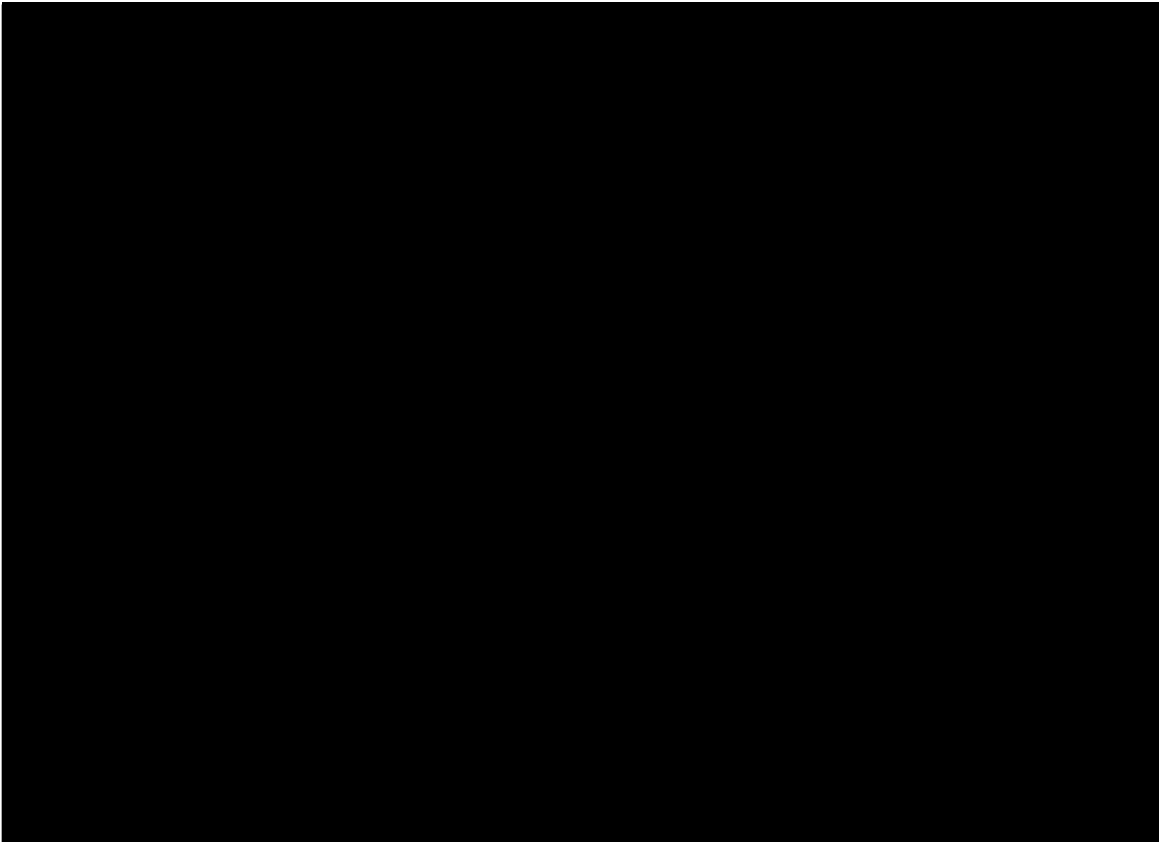
4 はるかに見て、恐れ入つて逃げぬ とあるが、「鼎殿」は何を見て逃げたのか。二十字以内の現代語で書きなさい。

5 愚かなる者 とは、どういう人物か。

- ア 道徳的な行いかどうかより、周囲の評価を重んじる人物。
 イ 他者から尊敬されようとして、うわべを飾り立てる人物。
 ウ 権威ある者に取り入ること、利益を得ようとする人物。
 エ 人格ではなく、外見的な要素によつて人を判断する人物。

3

次の文章を読んで、1から6までの問いに答えなさい。①～⑥は形式段落の番号である。



(みざらひろ)
港千尋「書物の変 グーグルベルグの時代」から

(注1) メソポタミア・チグリス・ユーフラテス両河の間の地域。世界最古の文明の発祥地。

(注2) 印章印。はんこ。

(注3) 実印印役所や役場に「印鑑登録」がされている印。実印でないものは「認印」という。

1 自然現象としての痕跡を文化現象として扱うこと とあるが、

「文化現象として扱う」とはどういうことか。

ア 粘土板や印章を博物館に保存して活用すること。

イ 記憶のための技術として文字を使用すること。

ウ 美を表現するために多彩な図案を考案すること。

エ 火や石斧などを用いて生活環境を改善すること。

2 世界を伝える とあるが、ここでいう「世界」とは何か。二十字以内で書きなさい。

3 「型」の発明であろう とあるが、「型」の発明とはどのような発明のことか。三十字以内で書きなさい。

4 このことは自明のこと とは、どういうことか。

ア 「型」が今日のハンコと同様に実用的なものであることは、自ずと分かるということ。

イ 「型」が権力を一般に広く知らしめるものであることは、証明を要するということ。

ウ 「型」が政治的な必要性から生まれたものであることは、明白な事実だということ。

エ 「型」がそれをもつ者の権力を象徴するものであることは、明らかだということ。

5 ④段落と⑤段落について説明したものとして、最も適切なものはどれか。

ア 古代メソポタミアやエジプトの印章と現代日本のハンコを具休例に挙げて、「型」に見られる普遍的な性質に言及している。

イ 古代メソポタミアやエジプトの印章と現代日本のハンコの類似点を整理して、「型」に見られる宗教的な性質に言及している。

ウ 古代メソポタミアやエジプトの印章と現代日本のハンコを比較対象として、「型」に見られる装飾的な性質に言及している。

エ 古代メソポタミアやエジプトの印章と現代日本のハンコの相違点を確認して、「型」に見られる民族的な性質に言及している。

6 変わったのは、ひとことで言えば印刷技術である とあるが、印刷技術の進歩はどのような状態をもたらしたと筆者は考えているか。

ア 記録することのできる情報が増えて、実物が軽視されつつある状態。

イ 印章や書物がその所有者の力を示すはたらきを強めつつある状態。

ウ 複製速度や量の向上により、読者の側に変化が生じつつある状態。

エ 人類最大の財産リストとしての書物の価値が高まりつつある状態。

次の文章を読んで、1から6までの問いに答えなさい。

ある日、私（先生）と呼ばれているは、釣りをしていた「長^{ちやう}や」か
んぷり」というあだ名の少年たちに出会い、鮎^{あな}を売ってもらった。それ
から三日して、少年たちが、私の家を訪ねてきた。

(山本周五郎「青べか物語」から)

(注1) 奸悪な計略||悪たくみ。

(注2) しょつから||つくだ煮屋の店の名前。

(注3) かん||錢貨を数える単位。

(注4) 寸毫||ほんの少し。

(注5) 黄白||金銭。黄金と白銀による。

(注6) 羈絆||行動を束縛するもの。

(注7) 狡猾||悪がしこくて、ずるいこと。

(注8) 貪婪な||欲の深い。

1 かれらは一列に並び、……鮎に値を付けさせた とあるが、その理由を「私」はどのように考えているか。

ア 私がぼんやりとしているうちに、鮎を高値で買わせるため。

イ 鮎をまとめ買いされて、値が安くなることを避けるため。

ウ 礼儀正しくすることで、鮎を気分よく買ってもらうため。

エ 一尾ずつ交渉することで、鮎をすべて買い取らせるため。

2 いさ ⁽²⁾ と言ったときの「私」の心情を説明したものと最も適切なものはどれか。

ア 仕方がないとあきらめ、自分を納得させようとしている。

イ 落ち着きを取り戻し、思わぬ成果を手にして喜んでいる。

ウ 悔しくてたまらず、怒りのやり場を失ってしまっている。

エ 本音を出すことができずに、ふてくされてしまっている。

3 二三日すると……窓の戸を叩いた ⁽³⁾ たた にあるような態度の「少年たち」をたとえた表現を本文中から五字で抜き出しなさい。

4 まったく予想しない事 ⁽⁴⁾ とは、どのようなことか。二十字以内で書きなさい。

5 私は深く自分を恥じた ⁽⁵⁾ とあるが、なぜか。五十字以内で書きなさい。

6 本文の特徴を説明したものとして、最も適切なものはどれか。

ア 本文中に方言を多用することで、地元の人々との触れ合いの中で成長する少年たちの姿を読者が想像しやすくなっている。

イ 慣用句や難解な熟語が繰り返し用いられることで、厳格で近寄りがたい主人公の人柄を読者が理解しやすくなっている。

ウ 本文中に読者の反応を想定した表現が入ることで、読者が物語を現実にあつた出来事としてより感じやすくなっている。

エ 郷愁を誘う風景描写に、登場人物の心情を重ね合わせることで、読者が少年たちの心情の変化に気付きやすくなっている。

5

図書委員会では、全校生徒に読書のすばらしさを伝えるために、
「本は だ」という標語を作ることにした。話し合いの中
で、左の六つが候補となり、その中から一つを選ぶことにした。あ
なたならどれを選ぶか。選んだ理由も含め、次の《注意》に従って
あなたの考えを書きなさい。

《注意》

- ・ 左の候補の中から一つ選び、その標語を国語解答用紙(2)の決められた欄に書くこと。
- ・ 選んだ標語の比喩表現^{ひゆ}について説明すること。
- ・ 二百四十字以上三百字以内で書くこと。

候補

- ・ 本は友だちだ
- ・ 本は遊園地だ
- ・ 本は宝箱だ
- ・ 本は先生だ
- ・ 本はタイムマシンだ
- ・ 本は世界地図だ